



GM兼監督の就任、おめでとうございます。縁深い東海地区での活躍が期待されている。

出身が三重県鈴鹿市で、四日市中央工業高校から地元のグランパスに入った。今回GM兼監督に就任して、気持ちも新たに結果を残していきたい。

——グランパスを離れていて、グランパスをどのように見たか。

グランパスを離れて約一五年になる。リーグや天皇杯で優勝経験もある。

るポテンシャルの高いチームなので、今の成績は物足りなさを感じる。もったいないというのが正直な気持ちだ。監督としては、いい選手を集め、自分の目指す理想の形になるようバランスよくピース（選手）を配置できればいいが、一クラブチームでは限界がある。ただGM兼務という立場にあるので、選手の確保にはある程度の権限は発揮できるのではないかと、思っている。

——スカウティングもGMがする

のか。

監督の仕事もあるので、専門のスカウトと相談しながら行っている。技術面で優れている選手とか、スピードのある選手など興味を引く選手は、スカウトに見に行ってもらっている。

——GMとの兼務ですが。

大変だと言われるが、海外のチームでは珍しくない。責任を持たせていただいたと思っている。GM兼監督に就任したばかりで、評価しても

らえるなら「逆評価」して欲しい。みなさんの目に映ったままの小倉グランパスを正直に話して欲しい。

——五人目まで連動するサッカー」を掲げられているが、具体的には。

就任時にこの「五人目まで連動……」を話したが、自分で考えても簡単に説明できることではないと思っっている。サッカーの経験者でもすぐに理解してもらえないかもしれない。大切なのはチーム内で自覚、共有できればいいと思っっている。私の立場では、現時点でそれを外部に向かって声高に伝えることではない。私は監督としてチーム内に浸透させ、勝つということが重要だ。ただ、現実と理想とは違うので実現させるのは困難な壁があると思っっている。

くのか。

シーズン終了後の結果は大事だが、チームは目先のゲームをこなし、いいことも悪いことも反省し、次のゲームの準備を行う。この繰り返しでチームの精度が上がっていく。プロの世界は勝ちと負けがはっきりしている。どんなにいい理想を追いかけても、現実の結果に対してはケジメをつけていかなければならない。クラブではアカデミーで人材育成をしつかり行うための改革も進めている。人材の育成は大切であり、時間がかかる。それもGMである私の仕事だ。

船頭を任せられた立場だから、途中の意見を聞いて自分の考えがブレていては船頭は務まらないどころか、船の方向が定まらないので危険だ。

豊田会長は「優勝を見たいな」とよく言われる。プレッシャーに感じる部分もあるが、気にかけていた上でありがたいと思っっている。グランパスは、トヨタという大企業の強い協力も得られている。車づくりを通して築かれた組織哲学を学ぶ機会もあり、勉強になる。

——チームスローガンに「信頼」を挙げたのは……。

仮に結果が出ていない状況であってもチーム、クラブ内の信頼関係を優先していくつもりだ。監督とスタッフ、スタッフと選手、クラブの広報や営業の方たちとの信頼、すべてを大切にしていかなければならない。

——監督は一九九三年、四年、オランダのクラブ「エクセルシオール」で活躍されたが、現在の日本のプロサッカーをどのように思うか？

ヨーロッパのサッカーの歴史は一〇〇年以上を誇る。それに対して日本は二〇年ほどだ。ヨーロッパはその歴史の差が選手の社会的地位の高さや地域との関わりにつながっている。日本のプロサッカーもこれからいろいろなもの積み重ね、ヨーロッパとの歴史の差を縮めていって欲しい。東日本震災などの災害でサッカークラブが支援に動いた。歓迎すべきことだ。プロチームとしての自覚、選手としての自覚はそんなところに求められるようになっていく。グランパスは名古屋愛知県さらに東海地方で、そうした社会的な地位をアピールしながら頑張っていく。応援をお願いしたい。

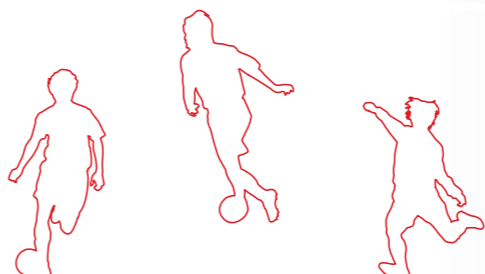


——豊田章男会長が掲げる「年輪経営」、グランパスも一つひとつの戦いを通して、進化、成長をしてい



# 名古屋グランパス 小倉隆史GM兼監督インタビュー

Jリーグ「名古屋グランパス」の監督に小倉隆史氏が就任し、注目される中でシーズンが開幕した。監督経験のない「新米監督」だ。しかもGMを兼任するという国内では珍しい立場に余計関心が集まっている。いずれも未知数の小倉氏に抱負を聞いた。



小倉 隆史  
TAKAFUMI  
OGURA

1973年7月6日生まれ。92年、名古屋グランパスエイト入団。ジェフユナイテッド市原、ヴェルディ川崎などで活躍、J1リーグ通算166試合出場34得点。2015年6月、名古屋グランパスエイトチーム統括部GM補佐就任。11月から、GM兼監督就任。